

第2回 横浜市洋光台駅前公園こどもログハウス指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和8年7月23日（木）10時～12時
開 催 場 所	磯子区役所 3階303会議室
出 席 者	今井委員（磯子区主任児童委員連絡会 代表） 川添委員（横浜国立大学 名誉教授） 榊委員（東京地方税理士会横浜南支部税理士） 觸澤委員（磯子区青少年指導員協議会洋光台地区 副会長）
欠 席 者	藤田委員（磯子区子ども会連絡協議会 会長）
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者なし）
議 題	1 面接審査 2 審査・選定
決 定 事 項	1 第2回委員会の一部非公開の確認について 第1回委員会で決定したとおり、議題1の面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）は公開とし、議題2の審査・選定は非公開とする。 2 指定候補者について 応募書類審査及び面接審査の結果、次の団体を指定候補者として磯子区長に報告する。 ・指定候補者 一般社団法人磯子区区民利用施設協会
議 事	会議の公開・非公開については、第1回選定委員会で決定したとおり、面接審査を公開とし、その後の審査及び選定については非公開とすることを確認した。 事務局から、応募は1団体であり、応募者資格に係る欠格事項への該当の有無について、選定委員会開催時点では回答を確認できていない旨の報告があった。なお、当該事項については、回答があり次第、事務局において責任を持って確認することとした。 1 面接審査 応募団体のプレゼンテーション 10 分間、質疑応答 20 分間程度で実施。 (1) 応募団体によるプレゼンテーション 事業計画等について説明があった。 (2) 質疑応答 (委 員) ここ2年ほどの間で、来館する子どもたちの様子に大きな変化はあったか。 (団 体) 施設運営としては、コロナ禍以降も感染症対策に気を付けている。来館者については、外国人利用者が増えていることが特徴である。そのため、中国語や英語による多言語パンフレットやチラシを作成し、館内ではポケトークを活用して対応している。 (委 員) 利用者数は増えているのか。 (団 体) 利用者数は、コロナ前の最多時で約6万人、コロナ禍では約5万人であった。現在は約6万人となっており、増加している。

	(委 員) 来館者の居住エリアの人口は減少しているが、それでも来館者数は増えているのか。 (団 体) 特徴として、近隣に、はまぎんこども宇宙科学館があり、同館を訪れた方が当施設にも来館する等、来館者数増の相乗効果がある。また、洋光台地区は地域のつながりが強く、地域住民や学校等と連携している。 (委 員) 通常時は職員2名を配置しているとのことだが、夏休み期間中は祝日と同様に職員を増員しているのか。 (団 体) 昨年度は職員を増員した。お盆期間中は利用者数がやや減少するものの、お盆の前後は利用者の増加が見込まれるため、例年の状況を踏まえ、特に午後を中心に職員を増員して対応した。 (委 員) 現在スタッフは11名とのことだが、勤務体制を手厚くする際には人員の確保が課題となることもあると思う。どのような体制で人員を管理しているのか。 (団 体) スタッフとして常時契約している者が10名いるほか、過去に勤務経験のある者をアルバイトとして登録しており、必要に応じて勤務に入ってもらっている。有給休暇取得等による欠員はアルバイトで補う体制としている。予算上は11名分を確保しており、通常時は2名体制で運営している。 (委 員) 人員は十分に確保できているのか。 (団 体) 十分に確保できている。 (委 員) 職員は長く勤務している方が多いのか。 (団 体) 最も勤続年数の長い職員は約10年勤務している。職員の入れ替わりがある年もあるが、ここ4、5年は大きな変動はなく、同じスタッフを中心に運営している。 (委 員) 子どもたちも安心して過ごせる環境となっているのか。 (団 体) 来館者や近隣の保育園等と顔見知りの関係が築かれており、日頃から声かけなどの協力をいただいている。長年勤務しているスタッフが地域との信頼関係を築いてきたことで、近隣の保育園や小学校等との連携にもつながっている。子どもたちが安心して過ごせる場所となるよう、常に心掛けて運営している。 (委 員) 利用料が無料であるため利用料金収入の増加は見込めないと思うが、指定管理料の増額を目指すに当たっては、来館者数の増加を実績として示し、市に増額を求めていくという考えか。 (団 体) 最終的には指定管理料により運営しているため、来館者数を増やし、その実績を示していくことが重要であり、目標の一つとしている。一方で、来館者数が増えると消耗品や事業準備等に係る費用も増加する。今回の提案では、他の経費を抑制しながら運営している。また、市が令和6年度から7年度にかけて実施した大規模修繕により施設環境が改善され、修繕費の抑制につながっている。 (委 員) 人件費を除くランニングコストの中で、最も費用がかかるものは何か。
--	--

(団 体) 定期的に発生する経費としては、消耗品費や事務費がある。自主事業（指定管理事業）で使用する物品は、スタッフが2か月ほど前から手作り準備している。また、当施設は市内18区の施設の中でも来館者数が多いことから、目の届きにくい場所には防犯カメラを設置しており、そのための費用も要している。

(委 員) 消耗品費は少ないと思うが、経費を抑えるためにどのような工夫をしているのか。

(団 体) 館内の装飾は毎月内容を変更しているため、一定の費用がかかる。また、自主事業（指定管理事業）の実施にも経費を要するが、余った資材を再利用するなど工夫しながら、経費の抑制に努めている。

(委 員) スタッフの年齢構成はどのようになっているのか。

(団 体) 最も若いスタッフは30代であり、中心となる年代は50代である。また、保育士資格を有するスタッフも配置している。そうしたスタッフは子どもへの対応に慣れており、その対応方法を他のスタッフも学ぶことで、人材育成にもつながっている。

(委 員) 他の施設の指定管理も行っているとのことだが、ログハウスならではの特色や、他施設との違いについて伺いたい。

(団 体) ログハウスは、利用者が主に子どもであることが大きな特色である。地区センターは利用者が限定されていないため、その点が大きく異なる。地区センター同士でも情報共有は行っているが、ログハウス特有の部分もあるため、他区のログハウスと情報共有しながら運営している。特に利用者層が共通する近隣区の施設とは、密に連絡を取っている。

(委 員) 利用できる年齢に制限はあるのか。

(団 体) 磯子区のログハウスは小学生までを利用対象としている。他区のログハウスでは、中学生の利用を認めている施設もある。

2 審査・選定

【応募団体の財務状況について】

委員から応募団体の財務状況について説明があり、施設の運営には問題のない財務状況であることが報告された。

【審査結果】

一般社団法人磯子区区民利用施設協会

396点（評価基準「6加減点項目」を含む）

348点（評価基準「6加減点項目」の項目を除く）

※満点 : 480点（評価基準「6加減点項目」を含む）

最低基準点 : 240点（評価基準「6加減点項目」を除く合計点の6割）

	【選定】 最低基準を満たしており、一般社団法人磯子区区民利用施設協会を指定候補者として選定し、磯子区長へ報告することを決定した。 【委員講評】 ・これまでの豊富な実績と長年にわたる安定した施設運営は高く評価できる。職員と利用者、地域、保育園及び学校等との良好な関係が構築されており、子どもたちが安心して過ごせる環境や人材育成体制も十分に整備されている。 ・他施設を含めた管理運営の実績も豊富であり、地域との信頼関係を基盤とした堅実な運営が行われている。これまでの運営実績を踏まえると、指定管理者としての信頼性は高いものと評価できる。 ・一方で、提案内容は全体として既存の取組の継続に重点が置かれており、施設の魅力向上や利用者ニーズの変化への対応、新たな自主事業の展開等については十分な具体性が示されているとは言い難い。 ・また、将来を見据えた運営方針や施設価値の向上に向けた戦略についてはやや弱く、指定管理者に求められる創意工夫や発展性の観点からは、更なる提案が期待される。 ・経費削減に向けた取組は評価できるものの、一部については継続的かつ安定的な施設運営との両立という観点から、実効性や持続性を十分に検証していく必要がある。 ・総合的には、実績、運営体制及び地域との連携について高く評価できる一方、更なるサービス向上や新たな価値創出に向けた積極的な取組を期待したい。
資 料	1 委員会タイムスケジュール 2 応募団体からの提出書類（1団体） 3 現指定管理者運営実績評価資料